

〈自動洗浄装置による洗浄・消毒〉

製造業者が推奨する洗浄・消毒方法は以下の通りです。

- ・脱イオン水を使用してください。乾燥剤は使用しないでください。
- ・アルカリ性洗浄剤を使用した後は、必ず中和剤で中和してください。
- ・本品は、洗浄水吹出口に置いてください。サクシオンポートキャップは開けておいてください。本品内部の空間を隈なくすすげるよう、注意して置いてください。
- ・自動洗浄装置を以下の設定で作動してください：
 1. 20℃の脱イオン水で1分間すすぎます。
 2. 洗浄は55℃の脱イオン水で5分間です。洗浄剤はケイ酸ナトリウム、リン酸塩を成分とするものを濃度0.5%（液剤の場合、水1リットルあたり5mL）で使用します。
 3. 中和は20℃で2分間。中和剤はクエン酸を成分とするものを濃度0.1%（液剤の場合、水1リットル当たり1mL）で使用します。
 4. 20℃の脱イオン水で2分間すすぎます。
 5. 93℃の脱イオン水で5分間熱消毒します。
 6. 100℃で乾燥します。
- ・本品に汚れが残っていないか確認してください。残っている場合は上記の洗浄・消毒操作を再度行ってください。
- ・滅菌の前に、本品に損傷や亀裂が生じていないか確認してください。損傷・亀裂等が見つかった場合は廃棄してください。

＊＊〈手動による洗浄・消毒〉

海外製造元が推奨する洗浄・消毒方法は以下の通りです。

- ・脱イオン水を使用してください。以下の手順で洗浄・消毒します：
 1. 洗浄・消毒操作の都度、洗浄消毒液（洗浄消毒剤を溶かした水溶液）を事前に準備します。20℃の脱イオン水に、過炭酸ナトリウム、クエン酸、炭酸ナトリウム（ソーダ）を成分とする洗浄消毒剤を、濃度2%（粉末の場合、水1リットル当たり30mL）になるよう溶かし、15分間置きます。
 2. 本品を洗浄消毒液の中で柔らかいスポンジを使って洗浄します。本品は20秒間以上洗浄消毒液の中に完全に浸す必要があります。洗浄が困難な箇所は、柔らかいブラシを使用します。本品の表面を傷つける可能性のある硬いブラシ等は使用しないでください。柔らかいナイロンブラシで本品の内側と外側を10回以上なでる様に洗浄します。
 3. 本品を洗浄消毒液の中に15分間置きます。本品内部の空間が隈なく浸るよう、注意して置いてください。
 4. 脱イオン水で本品をすすぎます。洗浄消毒剤の成分が残留すると、本品の使用期間が短くなったり、本品に損傷が生じる可能性がありますので、丁寧に洗い流してください。
 5. 本品を乾燥させてください。本品の内部に水が溜まらないようにしてください。
 6. 本品に汚れが残っていないか確認してください。残っている場合は上記の洗浄・消毒操作を再度行ってください。
 7. 滅菌の前に、本品に損傷や亀裂が生じていないか確認してください。損傷・亀裂等が見つかった場合は廃棄してください。

＊＊〈滅菌包装〉

洗浄・消毒の後、本品を高圧蒸気滅菌に適した無菌バリアシステムで包装します。無菌バリアシステムは、ISO11607-1（JIST0841-1）に準拠している必要があります。

＊＊〈滅菌方法〉

本品はオートクレーブ滅菌を行ってください。製造業者が推奨する滅菌サイクルは、温度134℃・5分間、乾燥時間は約10分間です。滅菌器内で本品や滅菌パッケージが損傷しないようにしてください。

＊＊【主要文献】

プリオン病感染予防ガイドライン（2020年版）
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班
（研究代表者：水澤英洋）及び日本神経学会

【製造販売業者又は製造業者の氏名又は名称等】（文献請求先も同じ）

＊＊〈製造販売業者〉

smiths medical

スミスメディカル・ジャパン株式会社

<https://www.smiths-medical.com/ja-jp>

＊〈問合せ先〉

フリーダイヤル 0120-582-855

〈製造業者〉

VBM メディツインテヒニーク GmbH

VBM Medizintechink GmbH

〈国名〉

ドイツ